

M30850T2-EPB 補足資料

ご使用前に必ずお読みください

株式会社ルネサス ソリューションズ
ツール開発部

この度は、株式会社ルネサス テクノロジ製 M32C/80, 84, 85, 86, 8A グループ用エミュレーションプロンプ M30850T2-EPB をご購入いただき、誠にありがとうございます。本資料には本製品をご使用になる前に必要な情報が記載されております。製品ご使用の前に必ずお読みください。

1. 本製品に対応した MCU ファイルとファームウェアのダウンロード

最新の MCU ファイルとファームウェアファイルに更新していただく必要があります。次の URL から、ファームウェア「m30870f.s」、mcu ファイル「m30850.mcu」をダウンロードしてください。更新方法の詳細は以下の URL を参照ください。

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/download/m30850t2-epb.htm>

ファイル名	バージョン番号	内容
m30870fw_mcu_file_installer20070801.zip	-----	M32C PC7501 エミュレータデバッグ用 インストーラ圧縮ファイル
m30870t-epb20070801.zip	-----	M3T-PD308F 用 MCU ファイル/ファームウェア圧縮ファイル

(1)M32C PC7501 エミュレータデバッグ 使用時

ダウンロードしたファイルを実行する前準備として、M32C PC7501 エミュレータデバッグがインストールされているかを確認してください。ご使用のエミュレータデバッグが最新でない場合は、オートアップデートユーティリティを使用してアップデートしてください。

上記 URL からインストーラ圧縮ファイル “m30870fw_mcu_file_installer20070801.zip” を、M32C PC7501 エミュレータデバッグがインストールされているホストマシンへダウンロードし、解凍してください。インストーラ “m30870fw_mcu_file_installer20070801.exe” を実行するとインストールを始めますので、画面に表示される指示に従ってインストールを実施してください。

(2)M3T-PD308F V.3.20 Release1 (保守製品) 使用時

ダウンロードしたファイルのコピーを開始する前準備として、エミュレータデバッグ M3T-PD308F がインストールされているかを確認してください。M3T-PD308F が最新でない場合は、最新版にアップデートしてください。上記 URL から MCU ファイル/ファームウェア圧縮ファイル “m30870t-epb20070801.zip” を、M3T-PD308F がインストールされているホストマシンへダウンロードし、解凍してください。

以下の手順で MCU ファイル、ファームウェアファイルをコピーしてください。

- ・MCU ファイルのあるディレクトリ(Mcufiles)に、“m30850.mcu”、“m30870.mcu”、“m30870_ad.mcu”をコピーしてください。
- ・エミュレータデバッグ実行ファイル(pd308f.exe)が存在するディレクトリに、“m30870f.s”をコピーしてください。

(3)新規ファームウェアファイルのダウンロード

(1)もしくは(2)で MCU ファイルとファームウェアファイルをコピーしていただいた後、M30850T2-EPB ユーザーズマニュアル 2.7「ファームウェアのダウンロード」の節を参照いただき、メンテナンスモードで起動した後、ファームウェアファイルをダウンロードしてください。

正しくファームウェアがダウンロードできたことを確認するため、ファームウェアをダウンロードした後、以下2点を確認の上、セルフチェックを実施してください。

- ・ターゲットシステムが接続されている場合は、ターゲットシステムを外してください。
- ・エミュレーションプローブ内のスイッチ設定は、出荷時の状態に戻してください。

セルフチェックの詳細は、M30850T2-EPB ユーザーズマニュアル 2.8「セルフチェック」の節を参照してください。

2.MCU ファイル

本製品使用時は、デバッグ対象の MCU グループに関わらず、MCU ファイルは、m30850.mcu を選択してください。

3.使用上の注意

M30850T2-EPB ユーザーズマニュアルに記載されている注意事項もご参照ください。

(1) 本製品は VCC1>VCC2 で使用する場合、以下の制限があります。

ターゲットシステムの VCC2 は 3.3[V]以上の電圧で使用してください。(1)

CPU クロックを 30MHz 越えて VCC1>VCC2 で使用する場合、インテリジェント I/O 機能の SFR 領域読み出し時は SFR 領域ウェイトを 2wait 設定 (PM13 ビットを "1" 設定) にしてご使用ください。(2)

CPU クロックを 24MHz 越えて拡張エミュレーションメモリを使用する場合、1 +2 設定にしてご使用ください。(3)

電源と動作周波数について以下の仕様となります。

電源	動作周波数	SFR	拡張エミュレーションメモリ
Vcc1=Vcc2 時 3.0 ~ 5.5V	24MHz 以下	1 ウェイト	1 +1
Vcc1=Vcc2 時 4.2 ~ 5.5V	32MHz 以下		
Vcc1 > Vcc2 時	24MHz 以下	2 ウェイト 2	1 +2 3
Vcc1=5.0V ± 0.2V, 3.3V Vcc2 < Vcc1 1	32MHz 以下		

(2) CPU 書き換えプログラムを拡張エミュレーションメモリに配置した場合、プログラムが暴走することがあります。CPU 書き換えプログラムは内蔵 RAM 領域またはターゲットシステム上の外部資源をご使用ください。

(3) 本製品は M32C/84, 8A グループ ROM レス品のページモード制御機能を使用した場合、下記の制限事項がありますので、ご注意ください。

エミュレーションメモリ以外の領域に対するワード単位のライトを実行したサイクルで以下の機能が正常動作しません。

- ・リアルタイム RAM モニタ
- ・イベント検出
- ・リアルタイムトレース表示

本制限事項はエミュレータ使用時のみで発生し、実 MCU では発生しません。

4.製品のお問い合わせ

本製品の技術的な内容に関するお問い合わせは、以下 URL の「技術サポート連絡書」に必要事項を記入の上、コンタクトセンタ csc@renesas.com まで送信ください。

[技術サポート連絡書]

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/registration/support.txt>

以 上